

## ケニア共和国ビタ縣市街地における口腔健康調査 －辺境地との比較調査－

長崎大学歯学部は、平成24年8月20日から24日までの4日間、ケニア共和国ビタ縣市街地の2つの小学校(Mbita Primary School、Mbita Point International School)を会場として、ナイロビ大学歯学部スタッフならびにICIPE診療所医師と共同して小学校6年生75名、及びその親族の者48名を対象に口腔健康調査を実施しました。

昨年度実施した2回の調査はビタ県辺境地で、同一地域における口腔内状態、および歯科保健行動の違いについての比較調査のため、今回は市街地の小学校を選びました。

その結果、辺境地と比較してう蝕有病率が高く、市街地の学童は、甘味料の摂取頻度が高いことが原因の一つだと考えられ、無歯科医地区であるビタ縣市街地では、早急な歯科保健教育の導入による保健行動の変容が求められる結果となりました。

今後は、これらの実態調査の結果をもとに、ビタ県自治体、およびナイロビ大学歯学部と共同して、地域の歯科保健活動への提言と支援を行うことができると考えています。



ナイロビ大学の先生方と林学部長



口腔健康調査の様子



口腔健康調査の様子



Mbita Point International Schoolへ椅子を寄贈